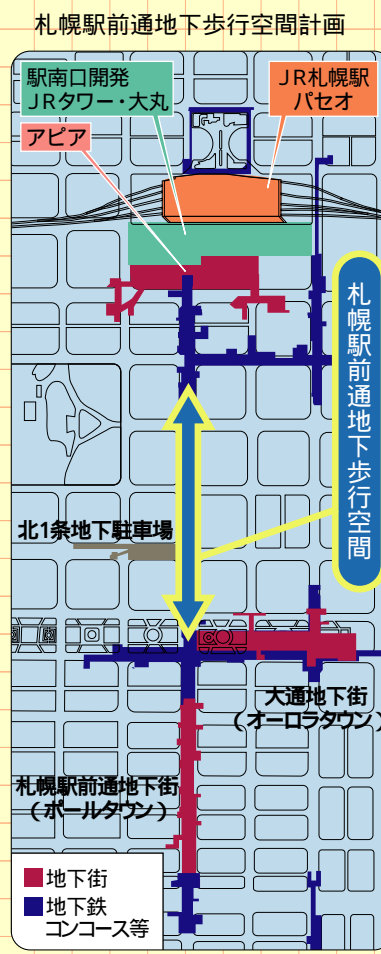




駅前通

都心は 変わりがありません

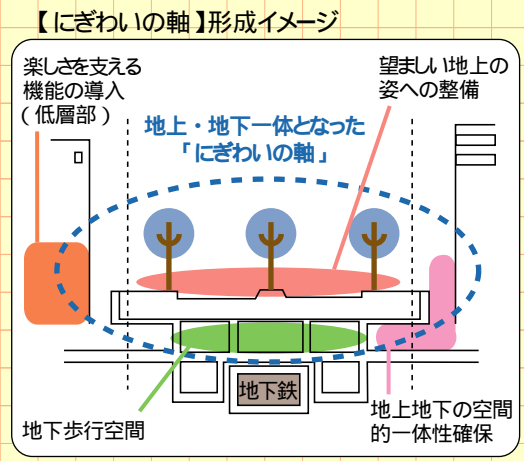
魅力と活力にあふれた都心を実現するためには、都心各地区の特色を生かしたまちづくりが欠かせません。ここでは、現在進んでいる具体的なまちづくりの取り組み事例を紹介していきます。



札幌駅前通地下歩行空間は、札幌駅周辺と大通周辺を結ぶもので、季節や天候に左右されず、誰もが安全・快適に移動できるバリアフリーな歩行空間として計画されています。

これら二つの地区を結ぶことにより、都心内を行き来しやすくするとともに、平成十五年春にオープンするJRタワーなどの新たな開発の効果を都心全体に行き渡らせることで、都心全体の魅力と活力の向上につなげることができそうです。

これまでのアンケート調査やワークショップにより把握した市民の皆さんの考え方を考慮しながら、駅前通沿いのビルと連携した、にぎ

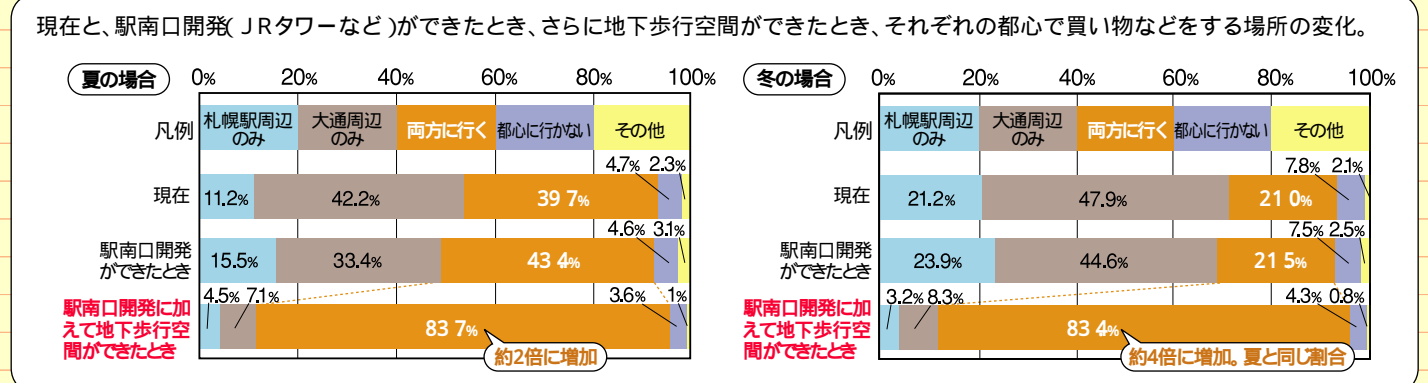


札幌駅前通地下歩行空間計画

わいのある空間づくりを目指して施設計画を検討しており、平成十七年度ころの着工、二十一年度ころの完成を目指しています。

これを、民間都市開発の連鎖的な展開により実現していくことを想定しており、平成十四、十五年の二カ年で具体化のための開発検討調査を行います。

●地下歩行空間による都心の回遊性向上効果(市民アンケート810人)



*1 オープンスペース・ネットワーク 歩行者・自転車道、河川・公園・緑地などの、都市にあるオープンスペースの利便性をより一層高めるためにネットワーク化すること。
*2 バリアフリー 公共的建築物や道路、住宅などで、高齢者や障害者にも配慮された設計のこと。

まちづくり促進地区の動き



創成川以東地域開発検討調査
札幌都心の創成川より東の地域は、利便性の高い場所でありながらその歴史の経緯から、住工混在の低利用市街地になっています。都心まちづくり計画では、ロカルエネルギーシス

「中心市街地活性化基本計画」では、民間都市開発事業を中心とする街区単位のまちづくりの動きを基本としつつ、「都心まちづくり計画」を具体化する上で特に重要と考えられる地区を、まちづくり促進地区として指定し、一体的な取り組みを推進することとしています。

都心における地区別まちづくりの動き

地区別まちづくりの流れ

まちづくり促進地区と駅周辺地区において協議体制が整備されてきています。

